

下水中に含まれる新型コロナウイルス調査に関する連携協定



金沢大学

市内2箇所の下水処理場で流入水を週2回採水

○高瀬下水処理場

下水処理人口 約26万人（市内人口の約40%を処理）

○西浦下水処理場

下水処理人口 約11万人（市内人口の約18%を処理）

処理区域内の感染者数データ

行政人口
643,971人(R2.3月末)

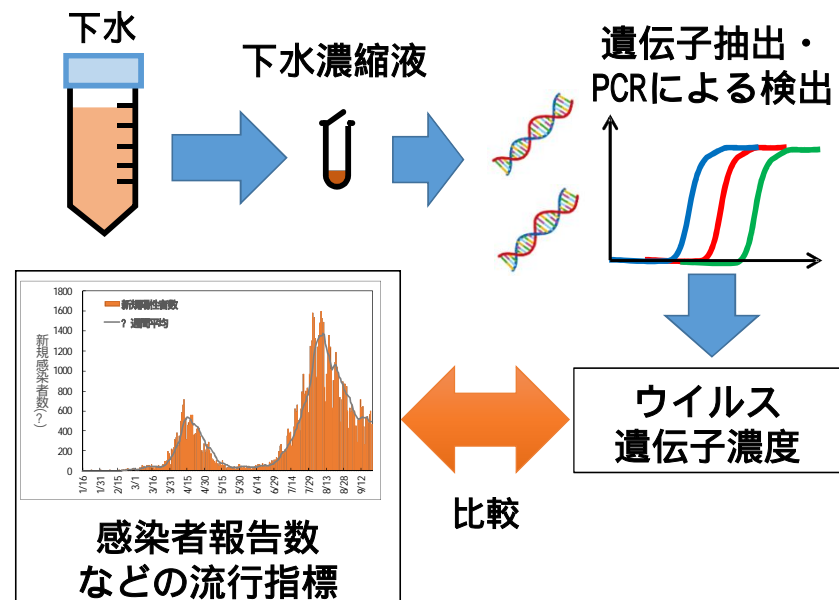


試料等

研究成果

下水からの新型コロナウイルス検出手法の最適化

下水中の新型コロナウイルス濃度を指標とした流行検知の精度検証



研究の結果により、無症状者を含めた感染状況の全体像の把握が期待でき、更に研究が進めば新型コロナウイルス感染拡大の兆候を早期に予測できる可能性がある。